

株式会社 井上

ものづくり技術

業界で初となる空気清浄設備を導入し、検品工程の高度化を図る “made in Japan”化粧用パフのトップメーカー

事業内容 化粧用縫製パフの製造が主力 品質面で高い評価を得ている

1950年(昭和25年)に化粧用縫製パフの製造を目的として創業し、1968年(昭和43年)に法人改組。長年にわたって化粧用縫製パフを主体とした化粧用具の製造を行っている。

化粧用縫製パフのほかに、スポンジ、泡立てネットなどの化粧用品を製造しており、製品は化粧品会社や商社などへ販売している。主力製品である化粧用縫製パフは、ポリエステル・ナイロン・コットン・アクリル・キトサン・シルクをはじめとする多数の生地を在庫として保有し、要望に合わ

せて迅速に対応できる。また、定番の丸型だけでなく、変形デザインにも対応可能で、成形リボン作成も自社で行うことができる。

化粧用縫製パフを国内自社生産する業者としては全国ではトップクラスの生産能力を有している。化粧用縫製パフの海外生産品が増える中で、同社の“made in Japan”品質は高い評価を受けている。

補助事業 さらに品質水準向上の要求に応えるべく 空気清浄設備を導入し、検品工程の高度化を図る

最近では、中国・タイ・カンボジアなどで製造された化粧用パフが多く流通するようになり、それに伴って価格競争も厳しくなっている。このような市場環境でも同社が大手企業から受注を得られている理由は、徹底した品質管理体制が敷かれていることにある。

同社では、限度見本(どこまでの製品を合格とするかの基準)を用いて、あらかじめルールを決めて検品作業を行っており、取引先の基準以上の高品質製品を提供し続けることができている。同業他社では基準を定めずに検品作業を行っているケースもあるようで、品質面ではある程度の自信を持っていた。

しかしながら、同社のエンドユーザーである大手化粧品メーカーからは、さらなる品質水準の向上を求められている。具体的には、目視では判別が難しいほどの小さなごみ

やほこりの混入防止、さらなる不良率低減につながる方策の提示を求められていた。

そこで、今回の補助事業では、新たに空気清浄設備を設置導入し、検品工程の高度化を図り、得意先の品質水準を満たす生産体制の構築を目指した。



▲縫製パフ

株式会社 井上

代表取締役 井ノ上 哲男
〒648-0101 伊都郡九度山町九度山214-2
TEL: 0736-54-2458 FAX: 0736-54-3039
URL: http://www.puff-inoue.jp

(業種)化粧用具製造
(設立)1968年12月
(資本金)10,000千円
(従業員)12人(常勤社員)

成果

「品質の見える化」が進んだ 従業員の作業負担も軽減

空気清浄設備導入までは、機能・性能を工場内で検討し、一方では設備メーカーに相談しながら、レイアウト変更などで綿密な打ち合わせが必要であり、最適な仕様とレイアウトの決定には骨を折った。

空気清浄設備の導入によって、不純物を外部から遮断、内部に持ち込まれても排除できる仕組みを作り上げることができた。その結果、空気中のほこりを従前と比べて99.8%減らすことができ、異物混入の完全防止に目処がたった。

また、空気清浄設備の活用そのものが客観的な品質保証につながり、「品質の見える化」を進めることもできている。業界内では、同社ほど高精度で検品を行っている企業はなく、他社との差別化にもつながった。不良率に関しても、品質検査ノウハウと品質意識の引き上げによって不良率は従来の10分の1とすることができた。このことは既存先からの評価にもつながっているほか、新規取引の際にもプラス

の効果があった。

社内的には、従業員の作業負担も軽減している。空気清浄設備を導入した作業場で作業を行うようになったため、不純物は外部から遮断され、虫やほこりに対して余分な気を遣うことも必要なくなった。



▲アッセンブリー品

今後の展開

新たな受注増加に意欲 社内体制の整備も進める

今回の補助事業で空気清浄設備を検査工程に導入し、取引先の求める高度な品質水準を満たす生産体制が構築できた。これによって既存得意先からの受注が増加していることに加え、新規取引が成立するなど販売面においても成果が上がり始めている。今後については、品質面における同業者との違いを積極的にアピールして、海外に流出している“パフ製造”を国内に回帰させたいと考えている。

一方で、海外に流出する“パフ製造”を取り戻すための生産体制は整えることができたが、人材配置・人材育成には課題がある。現在は取締役の井ノ上隆由氏が生産面と営業面の両方を管理しているが、これでは新たな受注増加には対応できない。工場長の育成を進めていくことで、営業と生産管理を分担して遂行できる体制作りも進めていく予定である。



▲空気清浄設備が導入された作業場



▲空気清浄設備の一部